

即戦力求め車両導入

中田商事 普免、AT限定に対応

中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）はこのほど、2台のハイブリッドトラックを導入した。日野の3ト車といすゞの2ト車で、いずれもAT車。価格は約500万円と、助成金を活用しても通常のディーゼル車より100万円ほど高い。しかし、普通免許かつAT限定のドライバーでも乗車

できるため、「若年層を即戦力として呼び込む入り口にした」と導入を決めた。さらに、大手建築メーカーを主力荷主の一つに持つため「消費税の関係で、この先3年間は駆け



導入したハイブリッド車

込み需要などで忙しくなる。太陽光パネルの設置件数も激増しており、狭い場所でも動きやすい小型トラックの需要は確実に増すと、実務面でのメリットにも大きな期待を寄せている。（加藤 崇）